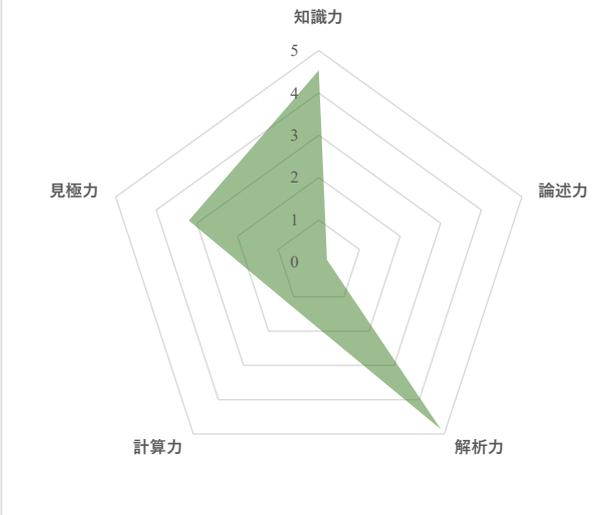


総合分析

試験区分	一般（前期）		
制限時間	45分（理科2科90分）	大問数	全3問

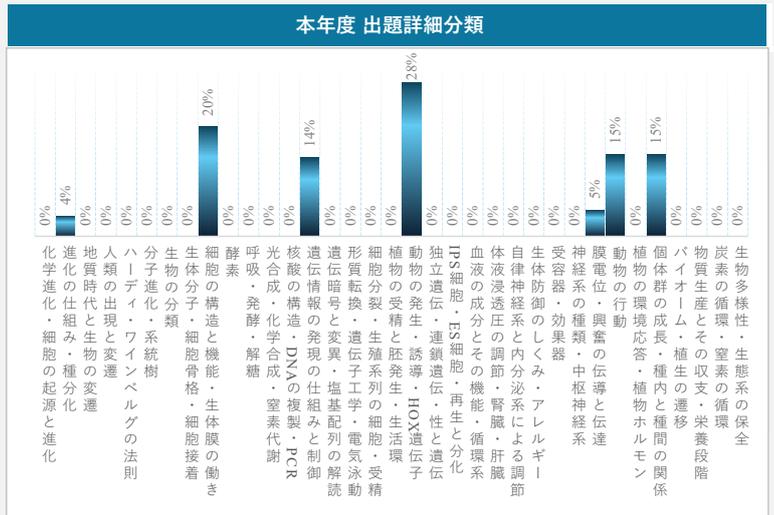
合格に要する能力（5段階）



分類	割合
系統と進化	4%
生命現象と物質	20%
遺伝子	14%
生殖と発生	28%
生物の環境応答	20%
生態	15%

選択肢	100%
-----	------

問	テーマ
第1問	遺伝性筋強直性ジストロフィーの発症機序
第2問	両生類の発生の仕組み
第3問	ミツバチダンス・ミツバチの社会・血縁度



合格に要する能力（5段階）		
知識力	4.3	出題分野の幅広い知識を有するか
論述力	0.0	設問の指定に沿って的確に記述する力
解析力	4.7	図表データなどから分析・解析する力
計算力	1.0	式を組み立て、正しく計算する力
見極力	3.0	難度を判断し、適切に時間配分する力

特殊問題の有無	数理生物学なし	生物物理あり	ノーベル賞あり	範囲外問題なし	長文論述なし
特記事項	ノーベル賞を取った古典的な実験の理解がよく問われる				

項目	スコア	説明	標準	一次合格に必要な正答率（予想）	70%
難度	2.7	最難を5とする問題自体の難度	標準		
分量	50分	完答に要する時間（制限時間は45分）	やや多い	標準	

入試の特徴と対策	標準的なバランスのよい問題で、高校での学習で十分に対応できる。
入試から見る大学が求める学生像	「歴史的に有名な実験」や「重要な生命現象の仕組み」などを正しく理解していることが求められる。また、疾患の発症機序（2025年の場合、遺伝性近強直性ジストロフィー）などを題材とし、実験データを読み解く能力も試されている。十分な知識と実験結果を解析して柔軟に考察する能力のある学生を求めている。